



2025年4月25日

各 位

会 社 名 GFA 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

当社保有の「Nyanmaru GOLD Utility Token(AGF)」に関する相対取引契約締結のお知らせ

当社は、2025年2月19日付『「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせ』にて既報のとおり、Web3.0領域における実需連動型トークンエコシステムの創出を推進しており、特にミームコイン領域では、NYANMARU COIN (\$NYAN) および関連ユーティリティトークンへの重点的な取り組みを展開しております。

このたび、にゃんまるエコシステムの中核ユーティリティである「Nyanmaru GOLD Utility Token (AGF)」について、ミームコインエコシステムのユーティリティ性を評価いただいているPT AGF GLOBAL INDONESIA との間で、相対取引による売買契約を本日付けで締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 相対取引契約締結の背景

当社子会社のGFA Capital 株式会社（以下、「GFA Capital 社」といいます。）は、2025年4月22日付PR情報「[\(経過開示\) Samsung Goldex との提携推進に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、韓国の大手ゴールド資産管理企業であるSamsung Goldex との提携を進め、実物資産（ゴールド）を担保資産としたRWAトークンである、NYAN SUNG GOLD Token（正式名称として決定、略称「NSG」といいます。）の開発支援を本社に行い、両社で協力して、Web3エコシステムの拡大を図っております。

また、当社グループが推進を行うにゃんまるエコシステムにおいて、「Nyan Sung Gold(NSG)」の重要性が高まりつつあり、その実用性を担保するユーティリティトークンとしての「Nyanmaru GOLD Utility Token(AGF)」の活用ニーズが国際的にも急拡大しております。

特に海外において、「Nyanmaru GOLD Utility Token(AGF)」を活用したWeb3モール展開、EC連携ユースケース、NFTとの連携型コマースへの関心が高まっており、国際金価格が過去最高値（1トロイオンスあたり2,300ドル超）を記録するなかで、Nyanmaru GOLD Utility Token(AGF)」を実質的なゴールド連動トークンとして評価する投資家が増加し、バスケット購入希望の引き合いが複数寄せられております。

このような背景を受け、当社が保有する「Nyanmaru GOLD Utility Token(AGF)」の一部について、PT AGF GLOBAL INDONESIA 社との間で相対契約による価格条件など合意が成立し、本件の契約締結に至っております。

PT AGF GLOBAL INDONESIA については、2023年4月4日付、当社HPニュースリリース「インドネシアでのWEB3・ファイナンス協業に関するお知らせ」における、インドネシアのスカルノ大統領が参画するゴールドプロジェクトであるAGFプロジェクトに関する紹介をいただき、AGFプロジェクト接続のフォローアップいただいている先であり、インドネシアにおける外国企業のハラル認証製品の取引・エンターテインメント事業の転換を図っている企業です。

2. 本取引の概要

(1) 対象資産	Nyanmaru GOLD Utility Token (AGF)
(2) 取引契約先	PT AGF GLOBAL INDONESIA
(3) 取引日	2025年5月以降に順次決定します
(4) 取引額	別途協議の上で決定します
(5) 価格算定基準	過去1か月間の市場価格を基に、VWAP（出来高加重平均価格）にて算定基準とし、そこからディスカウントを適用
(6) ディスカウント率	5万ドル/10万ドル/30万ドル/50万ドルの購入単位ごとに、5%~10%のディスカウント率を段階適用
(7) 決済方法	ステーブルコイン（USDT）による相対決済

3. 今後の見通し

本件が現時点において当社の2026年3月期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、本件の取引実行など、今後表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

本取引については、当社の掲げるBaaS（Blockchain as a Service）戦略の一環として、トークン資産を単なる保有ではなく、実需を伴ったエコシステム型収益源に転換するための先進的スキームとして位置付けております。

今後も、にゃんまるエコシステム内においてAGF、NSG、NYAMを軸とした「ミーム+ゴールド+ユーティリティ」の三位一体モデルの構築を加速させてまいります。

AGFについては今後、モール決済・ロイヤリティポイント・ゲーム報酬通貨等の実用的なWeb3ユースケースにおける展開を想定しており、BaaSの中心資産として他社プロジェクトへの提供も拡大予定です。

あわせて、AGF・NSGの上場先取引所の拡大や、エコシステム外へのユーティリティ横展開も積極的に模索してまいります。

以上